

IMG
ホールディングス



WELFARE GROUP PRESENTS
それU.K!! ミライBRIDGE

目で読む
ラジオ

2024年10月20日（日）FM大阪851 出演回

【メディア出演】IMGホールディングス 出演回 一書き起こしー

WELFARE group presents それUK!!ミライbridge

2024年10月20日（日）18：00～ FM大阪851

（敬称略）

U.K. : 大阪・難波にあるFM大阪の中に日曜日のこの時間だけオープンするパートナーズカフェがございます。マスターのUKです。今日もそろそろ“介護あかるくらぶ”のメンバーが一息つきにくるんだけどなあ。誰が来るかな？

♪カランコロンカラン♪（カフェの扉が開く音）

きったん：こんばんは！”介護あかるくらぶ”のきったんです。

U.K. : あー！ご無沙汰です。

きったん：1ヶ月ぶりです。

U.K. : で、今日は素敵な紳士を二人・・・？

きったん：自己紹介をお願いします。

安井 : はい、初めまして。株式会社IMGホールディングス代表の安井です。

U.K. : そして？

濱中 : 同じくIMGホールディングスの濱中です。よろしくお願いいたします。

U.K. : 僕、以前濱中さんはお会いした事あるような・・・

きったん：そうなんです、実は濱中さんは以前、済生会中津病院の事務長をされていたって、その時に、まあ1年ほど前ですかね？パートナーズカフェのゲストに出て頂いた事がございました。ですが今自己紹介いただいたとおり、株式会社IMGホールディングスという会社さんに転職をされて、それで社長さんを連れてきてくれた、ということです。

U.K.：うわあ、ありがとうございます。ちなみに、濱中さんはIMGホールディングスではどのような業務をされているんですか？

濱中：えー、コンサルティング事業部に所属してまして、各病院の事務長さんに対して事務長会議をひらいてそこで勉強会をしたりとか、あとは各病院の例えば監査とかあった場合にその監査の対策をしに行ったりとか、主に教育を目的に今はしています。

U.K.：なるほど

きったん：IMGホールディングスさん自体は、全国で58の病院ですとか介護施設を運営サポートされているコンサルティング会社さんで、赤字の病院などの立て直しをされているという事です。

U.K.：えー！？すごい、そうなんですね？若手社長じゃないですか！やり手じゃないですか！

安井：いえいえ、そんなことまったくないですが笑

U.K.：どのような業務なのか、また改めてご説明お願いします。

安井：はい。直近では東北の宮城県にございます公立刈田総合病院を、約1年半前に公設民営化で我々IMGホールディングスも運営サポートをスタートさせていただきましたが、その時には赤字幅がいろんなものを含めると20億くらいの赤字だったんですが、昨年、まあ今期ですねすでに1年が終わったという状況でほぼほぼゼロ、とんとんというところまでなんとか改善できたかな、という状況でございます。

U.K.：へえー、1年でどうやってそれだけドラスティックに変えられたんですか？

安井：えっとまあ、ひとつは救急患者を24時間受入れる体制を強化したということと、夜間の受入患者数が月間でも40件ほど増えましたので、結果として外来患者さんや入院患者さんが増えたのかな、という所になります。

U.K.：ある意味、会社の強化の仕方と近いものがありますよね？

安井：そうですね。

きったん：あの、安井社長が仰ってたのが、医療業界って専門家の方が多くて優秀な方がたくさんいらっしゃるって仰ってて、ただその優秀な専門家同士の連携がなかなか取りづらいというか、縦割りになってしまっていて、その部門間の調整をして専門家同士の力を最大限に発揮してもらうっていうのをIMGさんがしていると。

U.K.：そこに長けてらっしゃるという事ですか？

安井：あの、まあ実際うちから病院に3名ほど事務方を派遣させていただいております。別途それとは事務以外では医療職も少し入れさせていただいているんですが、事務方を中心に部門間調整

をすることによって病院がスムーズにうまく回ればいいのかな、と思っております。

U.K. : 縦割りから、そこをぶっ壊して、ひとつのチームにしていこうという作業ですよね？それはまたすごいことをされていますね。

きったん：そうですね。ただ、なんか看護師さんとかってけっこう個性強い人が多いイメージがあるんですけど、なんか「他所からやってきてー」とか全然いう事を聞いてくれない、というかのけ者扱いされて、とかそういうのを想像しちゃうんですけど

U.K. : はいはいはいはい、それドラマの見すぎじゃないですか？

一同 : 笑

きったん：なんか、そこで工夫されていたこととかなんかあったりするんですか？

安井 : そうですね、確かによく最初は「お堅い人がきたぞ」というような見られ方をする事があったんですが、まあ自分の場合でいくと、真夏の炎天下の中で病院の草むしりをしたりだとか、病院の周辺の掃除をしたりとか、基本的に人が嫌がるような事を“受け入れてもらう”という観点から率先して行っていたということはありますね。

U.K. : なんかこう異国に行って受け入れてもらうために自分をガラッと変えて努力する、その姿とまさしく同じ事をされていますよね。

きったん：コンサルティングってカッコいいイメージがありますが、こういう泥臭いこともたくさんされているのですね。

U.K. : そういう事ですよ。

きったん：あと、これもお聞きしたのですが、病院って1970年くらいの高度成長期の時にすごいラッシュで増えたみたいで、逆に今世代交代ラッシュで病院が建って50年くらいで再編とか合併が増えつつあるみたいで、なのでIMGさんの仕事もこれから増えていく状況みたいです。

U.K. : そうですね。でも赤字とかピンチの状況をチャンスに替えて軌道に乗せるほど、大変なことないと僕は思いますけど、その辺今後の抱負といいますか最後にお聞かせください。

安井 : 病院というものは、医療も介護もそうなのですが、地域になくてはならないもの、いわゆるインフラだと思っておりますので地域に根付いた地域医療・社会貢献をできたらな、と考えております。

U.K. : その思いだけで突っ走れるわけじゃなくて、草むしりをしたりいろんな事をやる、それでこそようやく相手に受け入れてもらえるという、その社長のお考え、ファンになりました。

安井 : ありがとうございます。

U.K. : そして、濱中さんも引き続き事務方をしっかりと教育して育てて頂きたいと思います。

濱中 : はい。

U.K. : また「I M Gホールディングスの事を調べたい」という方は是非とも、I M Gホールディングスと検索していただいたらホームページ出てきますよね？

安井 : はい。

U.K. : そちらから、ご覧いただきたいと思います。本日はI M Gホールディングス代表の安井さん、コンサルティング事業部の濱中さんにお越し頂きました。本日はどうもありがとうございました。

一同 : ありがとうございました。